

<h1>第303回月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営委員長 増田	企画運営委員

- ◎ 日時 2018年7月27日(金) 10:00~16:30
- ◎ 場所 品川区 中小企業センタ 2階 中講習室
- ◎ 出席者 38名(法人会員:31名 個人会員:7名 オブザーバ:なし)

1. 報告事項

1) 自己紹介・トピックス紹介

① 企画運営委員長挨拶

今後も引き続き会員の皆様に貢献できる月例会にしていきます。そのためには皆様からの要望、意見、課題などの情報がますます重要になります。是非忌憚のないご意見をだしていただき活発な月例会にしていきます。

② 会員からの要望・質問・課題提起

③ その他

日本学術会議「安全工学シンポジウム」7月6日のオーガナイズドセッションに安全技術応用研究会から参加し発表しました。以下4点が発表題目。会員HPに掲示します。

また、今後月例会でもこれらのテーマについて報告します。

- ・安全確認型の原理について
- ・協働ロボットと安全確認型システム
- ・フルプルーフと安全
- ・安全は確定的に構築しなければならない

2) 定例報告

① 第302回月例会・第28回企画運営委員会の概要。

- ・詳細は「第302回月例会議事録」参照。

② 第27回関西月例会・関西委員会活動報告概要。

- ・詳細は「第27回関西月例会議事録」参照。
- ・協働ロボットの安全規格についての東京月例会(6月)内容を、9月関西月例会で説明してもらうことになった。

③ 安全技術応用研究会ホームページの月例会資料の検索等(事務局)

- 安全技術応用研究会の月例会資料のタイトルを追加したことを前回月例会で報告したが、その際キーワードで検索できないかとの要望があり、これについては、当該画面の中で「CTRL+F」のキー操作で、検索機能を立ち上げてキーワード検索できること、またその旨は HP にも追記している。会員 HP 経由で閲覧できるようになったと伝えたが、HP の画面の中で「CTR+F」のキー操作で、検索機能を立ち上げてキーワード検索して使用すると、必要な文献、記事を見つけ易くなるのでお試しください。
- 「安全普及会 機械安全講習会パンフレット(案)」を作成した。
会員の皆様からのご意見をいただきたい。

④ 講習会講師のあり方について、討議した。

ご意見をいただきたいので、ご意見のある会員は事務局までお願いします。

配布資料 1部

資料 303-1-1 「安全技術普及会 機械安全講習会リーフレット(案)」

2. 報告テーマ「機械安全・機能安全の最新動向」

13:00～15:00 TUV 杉田氏

概要説明

安全設計に関連する機械安全・制御安全・機能安全の最近の動向について解説。

ISO、IEC、JIS、NFPA の各技術委員会等における安全規格の最新動向について解説された。

(詳細は配布資料を参照の事)

配布資料 1部

資料 303-2-1 「機械安全・機能安全の最新規格動向」

3. 報告テーマ「各種安全(労働安全、機械安全、製品安全 等)の体系的な考え方についての提案」

14:30～15:30 企画運営委員会

「安全」には労働安全、機械安全、製品安全、機能安全など様々な分野がある。

これらはどのような危険源から、なにを保護しようとしているのか、また、それぞれの関連性は

どうかについて、体系的に理解するための考え方が提案された。

参加者に、今後本テーマを進めることについて意見を求めた結果、大多数の意見は体系的な捉え方を整理しておくことが必要であるとのことであった。本テーマは継続して検討を進める。

4. 報告テーマ「リスクアセスメント委員会第3回開催結果報告について」

15:30～16:20 リスクアセスメント委員会

リスクアセスメント委員会の初期検討(方向性の決定)内容について概要説明

主な説明内容

- ・UHIM(Utility oriented Hazard Identification Method)手法を、危険源同定法として発展させる。
- ・委員会が扱う範囲・テーマについて検討した。今期はリスクアセスメントの基本的な実施方法についてのガイドをまとめ提供する。

月例会説明資料

資料番号	資料名
303-1-1	「安全技術普及会 機械安全講習会リーフレット(案)」
303-2-1	「機械安全・機能安全の最新規格動向」